

**製品名: エフリン受容体 B4 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe04123**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.53mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 108 kDa; Observed MW: 135 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	EPHB4
別名	EPHB4; HTK; MYK1; TYRO11; Ephrin type-B receptor 4; Hepatoma transmembrane kinase; Tyrosine-protein kinase TYRO11
遺伝子 ID	2050
SwissProt ID	P54760
免疫原	ヒト Eph 受容体 B4/HTK の組換えタンパク質

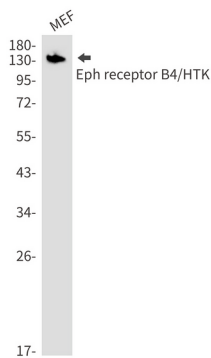
**背景**

EPH 受容体 B4 (EphB4) は、987 アミノ酸 (約 108kDa) のタンパク質から成り、タンパク質チロシンキナーゼファミリーのエフリン受容体サブファミリーに属します。Eph 受容体チロシンキナーゼとそのリガンドであるエフリンは、発達期および成体組織における多数の生物学的プロセスを制御し、癌の進行や病的な血管新生に関与していることが示唆されています。EphB4 は、血管の分岐および血管網形成を抑制する因子として作用し、血管新生プログラムを血管新生の芽生えから円周方向の血管成長へと切り替えます。EphB4 とそのリガンドであるエフリン B2 は、いくつかの種類の腫瘍細胞に発現し、腫瘍形成と相関しています。そのため、EphB4 は、いくつかの種類の腫瘍における疾患転帰の予測因子として、また新規治療法の標的として有望な候補です。

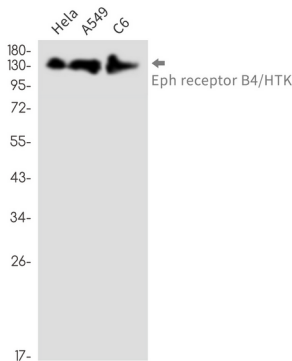
## 研究分野

心血管系

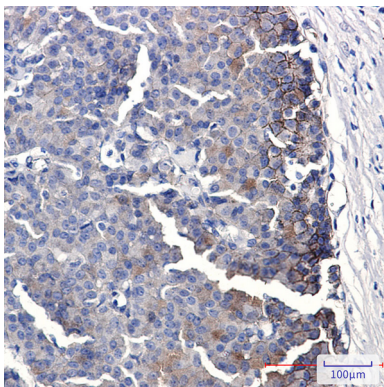
## 画像データ



エフリン受容体 B4 抗体を使用した MEF 溶解物中の Eph 受容体 B4/HTK のウエスタンブロット分析。



Eph 受容体 B4/HTK 抗体を使用した、Hela、A549、C6 溶解物中の Eph 受容体 B4/HTK のウエスタンブロット分析。



Eph 受容体 B4/HTK 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学染色。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。

